

海田小学校教育目標

夢への挑戦「自ら学び 自ら伸びる」

めざす児童像

聞いて 考えて 行動できる子ども
 自他を大切にできる子ども
 目標をもち ねばり強く取り組む子ども
 体力づくりに励む子ども

本年度重点目標

確かな学力の定着

- ・主体的で学び合いのできる授業
- ・基礎基本の定着と活用力の向上を図る。
- ・無解答率0をめざしてあきらめない学習。

豊かな心の育成

- ・自尊感情の育成・自己肯定感を高める。
- ・あいさつ日本一をめざす。
- ・共感的人間関係の育成

体力・耐力の育成

- ・新体力テストの効果的な活用を行う。
- ・外遊びの奨励
- ・体育の授業改善を行う。
- ・欠席0に向けた取組
- ・生活リズムカレンダーの効果的な活用

評価項目 3

時間いっぱい黙って丁寧に掃除をすることができる。

評価指標

時間いっぱい掃除をする児童 90%
 黙って掃除をする児童 90%
 丁寧に掃除をする児童 90%

1 学期評価

	時間いっぱい	黙って	丁寧に
教師評価	89%	84%	83%
平均	85.3%		

評価基準			
4	3	2	1
児童の評価を踏まえた見取り			
90%以上	85%以上	80%以上	80%未満

自己評価点

3

具体的方策	成果（○）と課題（▼）	改善策
○掃除の手順、掃除の仕方の統一	<p>○掃除手順をまとめたプリントを配布し、掃除の仕方を確認することができた。</p> <p>○動画を使って正しい掃除の仕方を指導することができた。</p> <p>○教職員と一緒に掃除をして、見本を見せることができた。</p> <p>▼雑巾の絞り方やほうきの扱い方など正しくできていない児童が見受けられる</p> <p>▼まだ、常時、全教員が児童と一緒に掃除をしているとは言えない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝会での実演指導などを行い確認させる。 ・掃除担当者が教職員も一緒に掃除をするように、適時、声をかける。
○掃除後の反省会による児童の相互評価	<p>○目標を3つに絞ったことで、反省する視点が明確になった。</p> <p>▼反省したことが、次の掃除に生かされていない場合があった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・形式化した反省会とならないように、反省会で出たことを、次の掃除に生かすように意識させ、改まっていたら評価する。
○掃除場所担当者による指導評価	<p>○教職員と一緒に掃除をしながら、適時、指導評価ができた</p> <p>○模範となる児童を表彰したことで、その他の児童へ掃除に対する意欲付けができた。</p> <p>▼掃除全体担当者が学校全体の掃除の様子を把握し、適時、指導、啓発ができなかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・掃除全体担当者は、週に一回は、各掃除場所を回り実態把握を行う。
○キラキラタイムの設定 (担当場所終了後の自主的掃除)	<p>○時間いっぱい掃除をする意識が高まった。</p> <p>○隅々まできれいにしようという意識が高まった。</p> <p>▼まだ、どこを掃除したらいいかわからない児童もいた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような箇所が掃除できるか、教職員が助言をしていく。
○時間いっぱいの徹底	<p>○きらきらタイムを設定したことが有効だった</p> <p>▼まだ、開始時間に遅れてくる児童や早く切り上げる班が見受けられるなど全ての班で徹底できていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・掃除時間の節目が意識しやすいように掃除の放送を工夫する。 ・各掃除場所の時計合わせる。 ・時間いっぱい掃除をすることを意識させ続ける。